

2017年6月9日

## 課題発見ゼミへの期待 葭森クラス

1)

私は、葭森先生のゼミを選択したいと考えている。自分は、徳島にきてまだ2ヶ月で徳島のことを全然知らない。縁あって、四年間は住むことになって、もっと徳島のことを知りたいと率直に思っていた。このゼミは、自由に探索して気になったことを調べ、研究することができる。なかなか自由に調べてそれを発表できる機会がないので、自分の感性を確かめてみたいとともにどこまでその感性を人に伝えられるのか挑戦したい。個人作業だけでなく、同じようなことを調査している人で集まって、グループでより深く研究もできる。自分の課題としているグループでの共同作業の積極的な参加や自分の感性を客観的に伝える能力を磨きたいと思い、このゼミを選択したいと考える。

このゼミで期待することは、発表時に聞き手からの質問をたくさん取り入れて、よりわかりやすく伝えられるよう試行錯誤を繰り返し、実行する力をつけることだ。

2)

このクラスを選んだ理由は、シラバスの到達目標の項目に惹かれたからである。自分で発見したことを人に説明する。この能力は、私が将来目指している教師という職業には必要不可欠である。自分の考えをできるだけ簡潔に、わかりやすく人に伝える事が教える者としては重要である。また、このクラスでは自分で課題を見つけ、解決する力も養える。それは、将来、生徒一人一人に目を向け、それぞれに合った指導をできるようになるための基礎力になる。以上の理由でこのクラスを選んだ。

3)

私は現時点では葭森先生の徳島の町を観察することから課題を発見したり、その課題をどうしたら解決できるか考えたりするゼミだ。このゼミを選択しようと思った理由はこのゼミを通して疑問を持つ力を身に付けたいからだ。普段何気なく見ている徳島の町の中にも多くの課題があるが、気づいていないことが多い。当たり前のことに疑問を持つということはこれから勉強していく中でとても重要なことだ。葭森先生のゼミでは問題を発見する力、客観的に物事を見る力、解決していく力を身に付けたい。

4)

理由は、授業の概要が徳島の街から何かを発見し、そのことを調べ発表するというもので、私は将来は公務員になって地域の課題を見つけ、その解決をしようと思っているのでこの講座が自分の将来のためになるのではないかと思うからだ。また、徳島の街から何かを発見し、そのことを調べ発表するというのは身近なものだと感じたため、この課題をやり終えたときにより自分の力になるのではないかと思うからだ。

5)

このクラスでは大学生活での学びに必要なものを身につけられる。普段何気なく見ている景色から自分の関心のあることを見つけ、それを課題にする。ただ関心があるという主観ではなく、そのことを他の人に納得してもらえるような理由を考える。他の人の意見を聞くことで、自分の出来ていないところを確認し、不十分な説明を補い、より納得させられるものに仕上げる。自分の関心のあることについて調べ、知り、発表することで、不十分な部分をまた調べ知ることができる。繰り返すことで根拠のある意見になり、はっきりとした結論が出る。また、グループでの作業もある。グループで作業をすることでチームワークの力を身につけることもできる。

6)

私は将来徳島の発展に貢献できるような活動をしていきたいが、まだ知らないことがたくさんあるのでこのクラスの授業を通じてもっと徳島のことを知りたいからである。あと自分で課題を発見、解決する能力を身に付けたいから。私は他人に自分の言いたいことを伝えることがすごく苦手なので、この授業でうまく説明ができるようになるために学びたい。

7)

私は葎森先生のゼミを選択したいと考えている。地方公務員になったときに地方のあれこれを知っていることは間違いなくアドバンテージになる。さらに言えば、私は徳島出身なのだが、まだまだ知らないことも多い。だから、大学生になった今こそ、新たな徳島を発見してみたい。以上のことより、興味もあるし、間違いなく将来に活かすことができる葎森先生のゼミを受けてみたいと考えている。

8)

私は、課題発見ゼミナールでは葎森教授のゼミに参加したい。自分が見聞きしたものから課題を発見することには興味があるし、問題解決能力にはあまり自信がないからだ。元々、人の前で自分の意見を発表することが得意で、そういった機会にも恵まれていた。しかし、主観的な意見は言えるものの、客観的な視点であったり中立の立場から意見することが苦

手だった。それは他人に問われても返答できるだけの情報を集めていなかったからだ。それゆえ、議論の進行は可能であっても、議論される課題の解決には至らなかった。私が、社会人になるまでに必要であるのに、現在身についていない問題解決能力について学ぶことが多くあると考えたので、葭森教授のゼミに参加したい。

9)

私は葭森先生のゼミに入りたいと考えている。その理由は2つある。1つ目は私の課題発見能力が低いと、その能力を高め、これからの大学での学習や社会に出た時の仕事に生かすことができるようにしたいからである。2つ目は、将来徳島県で県庁職員として県の振興を図りたいと考えているため、他人に徳島県の魅力をアピールできるように、アピールの仕方を学びたいからである。このゼミでは、私の足りない課題発見能力や問題解決能力、そして社会人として求められるチームワークで働く力を身につけることができるように概要に書いてあった。それらを身につけることができるように積極的に授業に参加したい。また、高校までの学習ではチームで作業を行う経験がなかったため、このゼミを通して、個人で調べることも必要であるだろうが、チームで話し合い、作業する機会を多く得ることができることを期待している。

10)

まず、地元徳島について深く知りたいという理由からこのゼミを選択しようと考えている。普段普通に生活している時は気づく事が出来なかった新たな徳島を発見するとともに、県外から徳島大学に来て、このゼミをとっている人に徳島の良さを伝えていきたいと考えている。

11)

町づくりをしたいが、町づくりをするためにはまず、その町のことを知る必要がある。その町にはどのようなものがあり、何を活かすことができるのか、などを考え、町に合ったことをしなければならないからだ。

また、実際に現地に行き、調べることも重要だ。なぜなら、知っていたものに対しても、知らなかったものに対しても、新たな発見をすることができるからだ。そして、資料でも調べることで、より深く町のことを知ることができる。

また、身の回りのことに疑問を持つことで視野が広がる。

これらのことを学ぶことができるため、Aクラスを選択したいと考えている。

ここでの授業を通して、他の地域にも活かせるようにしたい。"

12)

Aクラスを選んだ理由は、徳島を知るためです。私は、徳島県出身ですが、道や有名な店

などほとんど知りません。この課題発見ゼミナールを機に、徳島県について深く考えてみたいと思ったからです。このクラスでは、自分の知らない徳島を、知ることができるよい機会であると思います。様々な徳島にあるものを調べて、歴史的な関連などを調べていきたいです。

ほかにも知らないクラスがあるので、どのようなものか調べていきます。

## 複数を選択

### +衣川クラス

大学は自分で課題を見つけて、解決に努めるところであり、そういう面が自分には足りないと感じているからである。

徳島を散策し発見をしていくことで多面的な物の見方が形成されて、これも今の自分には足りないことであると自覚しているからである。

この2つの面から今の自分に足りない、そしてやるべきことであると思ったから。

### +内藤

わたしは内藤教授や葭森教授のもとでフィールドワークを重視した実践的な活動をした。積極的に行動することが苦手で今までも課外活動に参加したことが少ない。そのために、自分のコミュニケーション能力が極めて低いと感じることが多く、その度に何かしなければいけないとは思っていたが実際に行動に移すことができないでいた。これらのことから、私は大学に入学してからは自分が少しでも興味を持ったことには参加しようと努めてきた。しかし、アルバイトや部活などで思ったほど時間がなく、参加したい活動にも参加できないことが多くなり、このままでは以前と何も変わらない生活を送って4年間を棒にふることになってしまいかねない。それゆえに、授業でフィールドワークを重視し、幅広い視野を身に付けることができる講義を受けたい。社会に出た後にどの仕事でも必要となってくる問題解決能力とコミュニケーション能力、また実際に現地へ赴き体験することで豊かな想像力を養うことができる。いずれも現在の私には不十分であり、ぜひこの機会に身につけたい。

+熊坂・佐藤・山口+上原

もともと興味があった分野でもあるし、公務員になるために必要な知識はもちろん、考え方も身につくからだ。

+上原+内藤

A (葭森), J (内藤) を選んだ理由等

フィールドワークについて興味があり、かつ自分の足で情報を収集するという経験はぜひするべきだと考えたから。また、自分の常識外のことを体験し、自分の視野を広げたいと考えたから。常識外のことはもちろん、普段何気ないことでも、それらの裏/理由には何かあるのかを学習できることを期待したい。

C (上原) を選んだ理由等

私はプレゼン能力があまりないと自負 (自覚?) しており、まだプレゼン能力は社会に出るときに必須な能力であるので、是非とも身に着けるべきだと考えたから。また徳島の変った光景について、ここにきてまだ数か月ということもあるので、どのようなものがあるのか知りたいから。この授業によって、徳島の変ったものについて知ることやプレゼンの基本的なやり方はもちろん、分かりやすいプレゼンのやり方、人を引き付けるプレゼンのやり方等を身に着けたい。

質問：内藤先生の授業は、防災についても触れるのでしょうか?シラバスには防災について載っていたのに説明では防災について特に触れられていませんでしたので気になりました。

+三浦+内藤

私は、自分で行動に移すことが苦手なので、フィールドワークや実践がある授業を通して自分の行動力や決断力を養いたいからだ。そのためにも、学べることが多いフィールドワークがあることを期待したい。

+吉田+内藤

私は、後期の課題発見ゼミナールで履修したいと考えているクラスが 3 つある。はっきりとは決まっていないものの、私は将来市役所や町役場に就職して地域が抱えている課題を発見し、住民の意向に沿う形で課題解決に取り組んでみたいと考えている。将来仕事す

る上で必要となる力を身につけるのにふさわしいものとして3つのクラスを考えている。

1つ目が、内藤先生のクラスである。今回の授業では「食」について取り上げるということだ。各人の興味・関心に合わせて食がもたらす豊かさや食が抱える問題について考え、実際に地域に赴き、体験することでさらに理解を深めることができる。フィールドワークで多くの人と交流することでコミュニケーション能力の必要性にも気づける。将来必要となる課題発見能力・コミュニケーション能力を身につけるきっかけとなるのでこの授業を履修したいと考える。

2つ目が、葎森先生のクラスである。この授業では徳島に焦点を当て、何気なく過ごす日常の風景から不思議だ、面白いと感じるものを見つけ、調査し、資料を集め、考察するということだ。地元徳島で仕事をしたいと考える私にとって、徳島について知ることは最も重要である。調査では、文献を使って調べるだけでなく、近隣の住人や役所の人に聞いてみるなどより多くの手法で調査をしていきたい。

3つ目が、吉田先生のクラスである。この授業では学生ショップ「やおや YaO-Ya」を経営し、ローカル野菜の仕入れと販売を体験するということだ。一連の流れを通して問題を発見し、自分で考えて行動することはどんな職業においても必要となってくるはずだ。社会人としての基礎力を身につけるためにこの授業を履修したいと考える。

### ＋三浦＋佐藤（健）

#### 三浦クラス

##### 〈理由〉

自分の筋肉量や代謝を測定し分析することができ、自分自身を知るという点から興味・関心を持って学習に取り組めるため。また、若者だけでなく中高齢者の運動について知ることができるのは、地域の健康づくりに繋がる知識を得るよい機会だから。

##### 〈期待すること〉

健康・スポーツについて考え、実践的な技能を身につけること。

#### 佐藤(健)クラス

##### 〈理由〉

プレゼンテーションがあるので自分のチームの意見を分かりやすく伝える練習ができる。議論では得た知識をより深いものにできるのが良い。

##### 〈期待すること〉

課題を通して心理学の観点から考える力を養うこと。

#### 葎森クラス

##### 〈理由〉

徳島の街を実際に歩いて何か興味のあるものを発見するというのは、自分が徳島について

知る機会にもなるので良いから。また、実際にその場所に訪れて調査することにより、調査能力が鍛えられるから。

〈期待すること〉

徳島について調べ魅力を周りに伝える技能を身につけること。

#### ＋上原＋吉田＋内藤

A（葭森）：自分が小学生の頃から育った徳島について知りたいから。私は大学に入って徳島のことを聞かれる機会が多くなったが、きちんと答えることができない。この機会に徳島の魅力を堪能したいから。

F（上原）：裁判を傍聴したい気持ちが小さい頃からあり、裁判を傍聴することは今の徳島で何が起きているのかも知ることが出来る。このような体験は他ではあまり出来ないし、絶対に自分のためになり、良い経験であるから。

H（吉田）：私は去年徳島大学のファーマーズマーケットに行った。地域と蜜となれるこの活動は素晴らしいと思った。来年もし徳島大学に行けてたら参加したいなど受験生ながら考えていた。このクラスに行くことで高校の時からファーマーズマーケットに参加したいという小さな願望を実現出来るから。さらに、日本だけでなく、アメリカのまちづくりを知れて、視野が広くなれそうだから。

J（内藤）：南海トラフ大地震は向こう 30 年以内に約 70 パーセント起こると言われている。（[http://www.jishin.go.jp/main/yosokuchizu/kaiko/k\\_nankai.htm](http://www.jishin.go.jp/main/yosokuchizu/kaiko/k_nankai.htm) 6月11日アクセス）生きている間に起こる可能性の高い地震についてきちんと知りたいから。高校の時とは違う実践的な防災活動を学びたいから。